

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
【会社名】	パウダーテック株式会社
【英訳名】	Powdertech Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 祐二
【本店の所在の場所】	千葉県柏市十余二217番地
【電話番号】	04-7145-5751(代)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 倉持 正一
【最寄りの連絡場所】	千葉県柏市十余二217番地
【電話番号】	04-7145-5751(代)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 倉持 正一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期連結 累計期間	第54期 第2四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	5,294,767	5,439,440	10,834,113
経常利益 (千円)	717,860	839,442	1,493,168
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	471,613	546,080	1,075,683
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	460,507	545,201	1,067,063
純資産額 (千円)	10,631,059	11,501,006	11,237,385
総資産額 (千円)	13,667,569	14,325,765	14,506,825
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	159.14	184.27	362.98
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	77.8	80.3	77.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	289,945	802,165	1,324,919
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	944,775	679,426	1,301,697
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	336,763	332,918	391,573
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,648,248	3,058,593	3,270,944

回次	第53期 第2四半期連結 会計期間	第54期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり 四半期純利益金額 (円)	66.64	96.29

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容に重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦の影響を受け、米国では企業部門において伸び悩みが見られましたが、個人消費は堅調に推移しました。中国では輸出減少などの影響を受け景気減速が続きました。また、欧州においては、内需は底堅さを維持しましたが、輸出の低迷などが見られました。日本国内では外需の低迷で製造業は減速傾向を示しましたが、良好な雇用・所得環境を背景に個人消費を中心に緩やかな回復傾向で推移しました。

このような経済環境のなか、当社の主要製品である電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場は、カラー機を中心に全体としては底堅く推移いたしました。

食品の品質保持に使用される脱酸素剤市場は、消費者の安全・安心志向に変わりはないものの弱含みで推移いたしました。鉄粉につきましては、主要用途であるカイロの生産調整等により前年同期を下回る需要となりました。

これらの市場環境下、当第2四半期の売上高は前年同期比2.7%増加の5,439百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の増益により、営業利益は843百万円（前年同期比19.3%増）、経常利益は839百万円（前年同期比16.9%増）となりました。特別損益では、損失として固定資産除却損を42百万円計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は546百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

キャリア事業

当セグメントにおきましては、前年同期のお客様による在庫調整の影響がなくなったことに加え、新規市場向け新製品の立ち上がりにより、売上高は4,352百万円（前年同期比4.5%増）となりました。セグメント利益は、減価償却費の増加と原材料・エネルギー価格の上昇を増販益とコストダウンでカバーし1,033百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

鉄粉事業

当セグメントにおきましては、売上高は1,086百万円（前年同期比3.7%減）となりました。セグメント利益は、減販損が影響し62百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、預け金は減少しましたが、たな卸資産の増加により、64百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産の減価償却発生金額が設備投資金額を上回ったことなどにより、245百万円減少いたしました。以上により、総資産は181百万円減少し14,325百万円となりました。

負債は、主に未払金の減少により、444百万円減少し2,824百万円となりました。借入金は前連結会計年度末より50百万円減の50百万円となっております。

純資産は、263百万円増加し11,501百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し80.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が796百万円となり、減価償却費が466百万円、棚卸資産の増加で252百万円のキャッシュ減少、法人税等の支払で131百万円のキャッシュ減少等により、802百万円のキャッシュの増加（前年同期比512百万円キャッシュ増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主にキャリア製品製造設備等の設備投資に669百万円を支出したことにより、679百万円のキャッシュの減少（前年同期比265百万円キャッシュ増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、長期借入金の返済による支出50百万円、配当金の支払281百万円等を行い、332百万円のキャッシュの減少（前年同期比3百万円キャッシュ増）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比410百万円増加し3,058百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は266,482千円であります。なお、研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

(6) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境および入手可能な情報に基づき、最善の経営方針を立案するよう努めております。事業環境の変化に対応すべく経営戦略を明確にし、掲げた課題と施策を確実に実行してまいります。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,200,000
計	7,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,970,000	2,970,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	2,970,000	2,970,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		2,970,000		1,557,000		1,566,000

(5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	2019年9月30日現在	
		所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4丁目1-35	1,094,720	36.94
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎1丁目11番1号	1,026,300	34.63
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2丁目5番5号	132,000	4.45
パウダーテック従業員持株会	千葉県柏市十余二217番地	82,236	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	75,200	2.54
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1丁目4-10	56,400	1.90
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2丁目1-2	33,000	1.11
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	1 CHURCH PLACE, LONDON, E14 5HP UK (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	25,290	0.85
中丸 俊介	千葉県船橋市	12,000	0.40
宗教法人カトリック聖パウロ修道会	東京都新宿区若葉1丁目5	11,500	0.39
計		2,548,646	86.00

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,500		単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,957,400	29,574	同上
単元未満株式	普通株式 6,100		
発行済株式総数	2,970,000		
総株主の議決権		29,574	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式98株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パウダーテック株式会社	千葉県柏市十余二217番地	6,500		6,500	0.22
計		6,500		6,500	0.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	347,519	316,211
受取手形及び売掛金	1, 3 1,180,452	1 1,194,491
電子記録債権	3 820,730	833,433
商品及び製品	1,000,900	1,233,811
仕掛品	967,310	965,799
原材料及び貯蔵品	481,590	501,501
預け金	2,923,424	2,742,381
その他	26,027	25,153
貸倒引当金	979	950
流動資産合計	7,746,976	7,811,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2 5,013,249	2 4,991,801
減価償却累計額	2,884,810	2,911,980
建物及び構築物(純額)	2,128,438	2,079,821
機械装置及び運搬具	2 10,444,409	2 10,519,547
減価償却累計額	8,138,385	8,475,937
機械装置及び運搬具(純額)	2,306,024	2,043,609
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	47,681	27,250
減価償却累計額	43,327	22,152
リース資産(純額)	4,353	5,097
建設仮勘定	28,964	100,862
その他	571,925	583,208
減価償却累計額	508,816	523,472
その他(純額)	63,109	59,736
有形固定資産合計	6,391,088	6,149,325
無形固定資産		
その他	46,763	42,384
無形固定資産合計	46,763	42,384
投資その他の資産		
投資有価証券	14,571	14,312
繰延税金資産	272,927	274,273
その他	39,698	38,833
貸倒引当金	5,199	5,199
投資その他の資産合計	321,996	322,220
固定資産合計	6,759,848	6,513,930
資産合計	14,506,825	14,325,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 1,085,978	1,090,477
1年内返済予定の長期借入金	100,000	50,000
リース債務	2,159	2,481
未払金	932,524	445,809
未払法人税等	154,896	273,824
未払事業所税	21,534	10,600
未払消費税等	75,012	63,300
賞与引当金	224,110	253,456
その他	180,536	148,838
流動負債合計	2,776,753	2,338,789
固定負債		
リース債務	1,967	2,413
長期未払金	10,257	10,257
環境対策引当金	4,537	4,537
退職給付に係る負債	474,924	467,760
その他	1,000	1,000
固定負債合計	492,686	485,968
負債合計	3,269,440	2,824,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	8,127,747	8,392,302
自己株式	11,212	11,267
株主資本合計	11,239,534	11,504,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	174
為替換算調整勘定	2,154	2,853
その他の包括利益累計額合計	2,149	3,028
純資産合計	11,237,385	11,501,006
負債純資産合計	14,506,825	14,325,765

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,294,767	5,439,440
売上原価	3,787,597	3,752,012
売上総利益	1,507,169	1,687,428
販売費及び一般管理費	¹ 800,215	¹ 844,099
営業利益	706,953	843,329
営業外収益		
受取利息	6,920	6,755
為替差益	13,172	-
その他	4,757	5,513
営業外収益合計	24,850	12,268
営業外費用		
支払利息	401	301
為替差損	-	6,292
債権売却損	12,240	8,968
その他	1,301	593
営業外費用合計	13,944	16,156
経常利益	717,860	839,442
特別損失		
固定資産処分損	33,636	42,838
固定資産売却損	3,170	-
特別損失合計	36,806	42,838
税金等調整前四半期純利益	681,054	796,603
法人税等	209,440	250,522
四半期純利益	471,613	546,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	471,613	546,080

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	471,613	546,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	179
為替換算調整勘定	11,017	698
その他の包括利益合計	11,106	878
四半期包括利益	460,507	545,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460,507	545,201

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	681,054	796,603
減価償却費	421,564	466,905
貸倒引当金の増減額(は減少)	123	29
賞与引当金の増減額(は減少)	32,297	29,346
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,703	7,163
受取利息及び受取配当金	7,003	6,838
支払利息	401	301
為替差損益(は益)	2,091	1,707
固定資産売却損益(は益)	3,170	-
固定資産処分損益(は益)	33,636	42,838
売上債権の増減額(は増加)	388,738	27,759
たな卸資産の増減額(は増加)	197,708	252,038
仕入債務の増減額(は減少)	99,790	5,978
未払金の増減額(は減少)	179,379	52,970
未払消費税等の増減額(は減少)	9,704	11,711
その他	13,257	57,856
小計	496,020	927,311
利息及び配当金の受取額	7,003	6,838
利息の支払額	401	301
法人税等の支払額	212,675	131,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,945	802,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	914,973	669,577
有形固定資産の除却による支出	8,135	9,849
有形固定資産の売却による収入	100	-
無形固定資産の取得による支出	21,766	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	944,775	679,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	5,230	1,337
長期借入金の返済による支出	50,000	50,000
自己株式の取得による支出	-	55
配当金の支払額	281,532	281,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	336,763	332,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,739	2,170
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	989,854	212,350
現金及び現金同等物の期首残高	3,638,102	3,270,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,648,248	1 3,058,593

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
1 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	13,277千円	11,487千円

2 圧縮記帳額

国庫補助金等により有形固定資産の取得価額から控除している圧縮記帳額及びその内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
建物及び構築物	6,947千円	6,947千円
機械装置及び運搬具	432,552	432,552
計	439,499千円	439,499千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	1,372千円	千円
電子記録債権	13,400	
支払手形	11,467	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
販売費	千円	千円
賞与引当金繰入額	17,047	18,678
退職給付費用	3,378	3,305
一般管理費		
役員報酬及び給料・手当	166,676	171,907
賞与引当金繰入額	66,864	76,202
退職給付費用	10,084	12,985
研究開発費	166,623	174,002

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	342,334千円	316,211千円
預け金	2,305,914	2,742,381
現金及び現金同等物	2,648,248千円	3,058,593千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	281,532	95.00	2018年3月31日	2018年6月29日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	281,525	95.00	2019年3月31日	2019年6月28日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,166,946	1,127,820	5,294,767		5,294,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,166,946	1,127,820	5,294,767		5,294,767
セグメント利益	887,854	64,081	951,935	244,981	706,953

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 244,981千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 244,667千円及び棚卸資産の調整額 313千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,352,983	1,086,457	5,439,440		5,439,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,352,983	1,086,457	5,439,440		5,439,440
セグメント利益	1,033,800	62,533	1,096,333	253,004	843,329

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 253,004千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 253,688千円及び棚卸資産の調整額684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	159円14銭	184円27銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	471,613	546,080
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	471,613	546,080
普通株式の期中平均株式数(株)	2,963,502	2,963,420

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

パウダーテック株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田 島 祥 朗
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田 原 諭

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパウダーテック株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パウダーテック株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。